3 村づくりの重点事項

食と農を豊かに　安心できる子育て　快適な田舎暮らし

協働の村を育む

自治

- 村づくり（自治）基本条例の制定と普及・実践
- 公共サービスの担い手としての住民自治組織「まちづくり会社（銀行・公社）」の育成
- 村民個々のさまざまな自主的活動・事業を応援
- 自治の担い手として村民は積極的に行政運営に参画する

情報共有

- 村と村民との情報の共有（村おこし懇談会、ホットメール、委員公募制、職員の地域担当制、情報宅配便、地域公共ネットワーク等）

地域循環型社会

- 地域循環型社会（経済）の形成

『村民』・『地域』ができること　例えば・・・

村民

- 子どもや高齢者、障がいを持った人のお手伝い
- さまざまな分野でのボランティア活動
- 健康づくり（食事、運動、健診）
- 各家庭で花づくりや美しい景観をつくること
- ごみを減らすこと
- 買い物はできるだけ村内ですること（村民所得や雇用の増）

地域（行政区、団体、企業等）

- 消防（団）や防犯活動、災害時の助け合い
- 道路の清掃、路肩の草刈、明渠排水の維木処理など、生活・生産基盤を維持すること
- 各地域・事業所で花づくりや美しい景観をつくること
- 公園や花壇の管理
- 高齢者や障がい者世帯の除雪や資源ごみの回収・持ち込み
- 地域内の除雪や排雪
- 団体等は財政も事務も自立すること

住民自治組織が担う村づくり

住民自治組織として仮称「中札内まちづくり会社（銀行・公社）」が、公共サービスの一部を担うとともに、村づくり計画や事業の提案、交流事業などを行う。

産・学・官の連携

村民の力、村内の団体・企業の力、村職員の力だけでは解決できない問題や専門知識を要する業務は、他の自治体や北海道、国、大学、公的試験研究機関、民間と連携する。

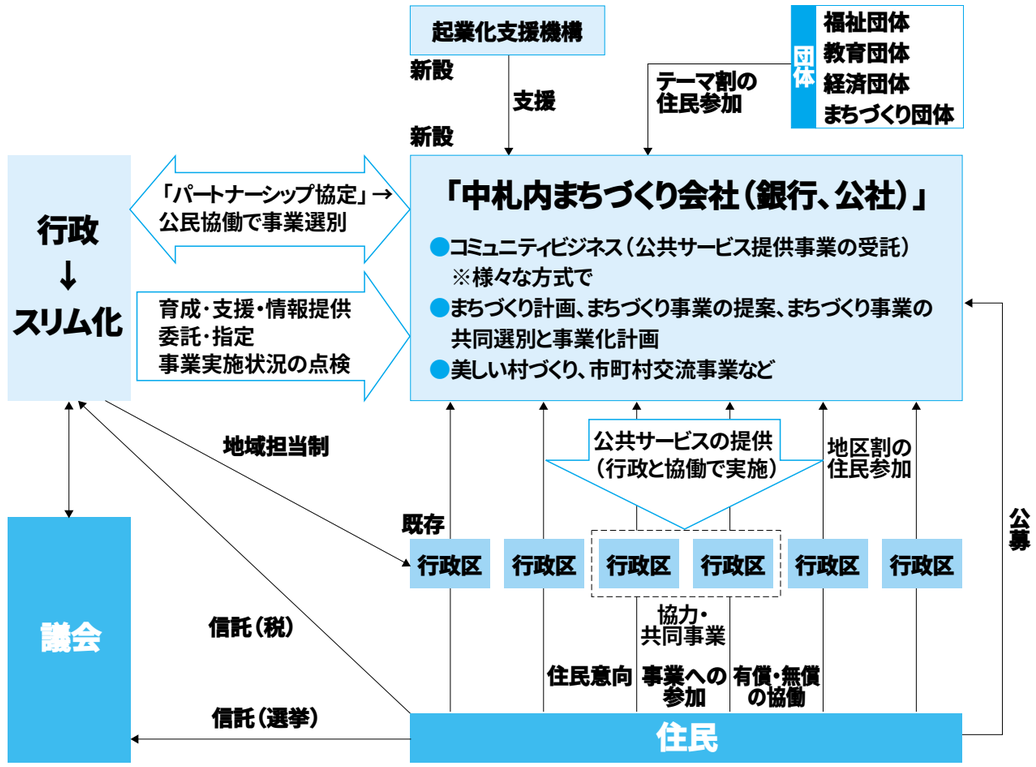
市町村の広域連携による人材等の有効活用

介護保険、国民健康保険、税の徴収、教育委員会、公平委員会など広域化できる事務事業を共同で行う。

市町村交流事業の推進

姉妹町村である福野町、友好都市である川越市との多面的な交流で、お互いの発展を支え合うまちづくりを行う。

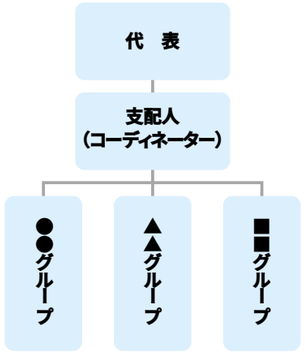
新しい住民自治組織のイメージ



行政区　現行の30行政区

- 広報の配布、道路・公園の清掃、資源ごみリサイクル活動、高齢世帯等の除雪、敬老会の開催、村おこし懇談会の開催、村民スポーツ大会の参加取りまとめ　地域住民の交流活動　など

仮称「中札内まちづくり会社（銀行、公社）」の組織イメージ



① 形　　態：ＮＰＯ法人、有限会社、株式会社も想定
② 設　　立：住民主体で設立（※具体的な設立方法を検討する場が必要）
③ 運　　営：住民主体で運営
利益を最大の目的とはしないが 持続するための一定の利益を確保する
④ 事業目的：地域課題解決による地域振興への貢献
⑤ 組　　織：地域推薦・団体推薦・公募（自薦他薦）の社員により構成
サービスを提供する人材は村民の中から募集する
調整及び事務を担う常勤の職員を置く
⑥事業内容：行政と共に、実施する事業を選別する（基準や仕組みの作成）

安らぎの社会を育む

福祉

「安心できる子育て環境」
★重点事項

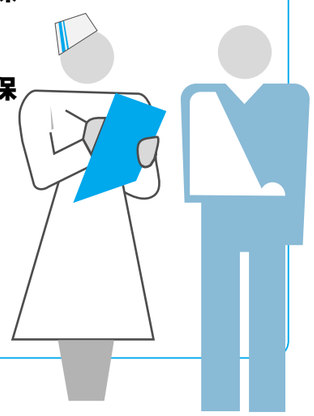
- 子供を安心して生み育てられる環境をつくる総合的な子育て支援
- あらゆる人が共に住み、共に生活できる地域社会を築く
- 高齢になっても、一人暮らしでも安心な、介護サービス・在宅福祉の充実
- 長生きが楽しい生きがい対策
- 高齢者の知識と人材の活用。引き続き社会参加できる場づくり

健康づくり

- 健診前後の支援の充実で一次予防対策
- 健康づくりで医療費を抑制

医療

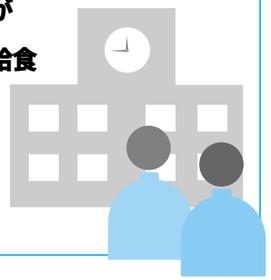
- 一次医療の確保
- 救急医療の移送体制の確保



豊かな人間性を育む

学校教育

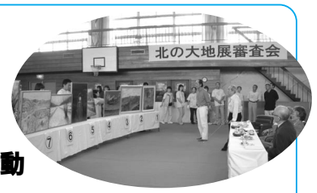
- 子どもたちは学校、家庭、地域が協力し、のびのびと育てる
- 中札内産の食材がいっぱいの学校給食



生涯学習

- 生涯学習のできる環境をつくる

文化



- 企業メセナ活動（「中札内美術村」など）と連携した芸術文化振興
- 「北の大地展」作品の活用

スポーツ

- 世界を舞台に活躍するスポーツ選手を育て、支援する

活力ある産業を育む

農業

「循環農業で生きた土づくり」
★重点事項

- 環境に優しい農業の推進
- 中札内ブランド、十勝ブランドを活かした販売拡大とそのしくみづくり
- こだわり農畜産物の生産拡大と付加価値向上（トレーサビリティ＝生産履歴情報の公開）

商工業

- 質の高い農畜産物を活かし、旨いものをつくり、買って、食べていただく
- まちなみ、店舗、商品、人の魅力を高めた買い物環境づくり
- 企業立地支援による雇用の創出

観光

「観光客100万人をめざす」
★重点事項

- 花のまちづくり～花がいっぱいで美しい村づくり。花づくりの担い手の育成。村民参加でシンボル花壇づくり
- 農業や優れた自然の資源を活かした体験・滞在型のグリーンツーリズムなどの推進
- 道の駅を拠点とした観光、農業、地場産業の振興

安心の生活を育む

環境

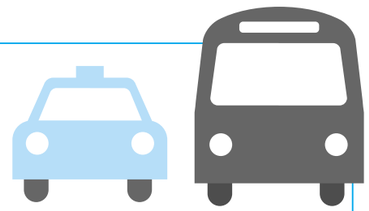
- 清流日本一「札内川」の水を守る
- 美しいまちなみと農村景観づくり
- 環境保全で災害に強い地域づくり

定住促進

「ゆとりとうるおいの定住環境」
★重点事項

- 優良田園住宅（※）の供給や多様なニーズやライフスタイルに合った宅地の提供
- 若い世代の定住対策（便利で住みよい環境、働く場、子育て・教育環境、美しく魅力ある村）

交通通信



- 高規格道路の早期完成を促進
- 公共施設を結ぶ「地域公共ネットワーク」（※）の整備で情報化を推進

※グリーンツーリズム　緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動。
※優良田園住宅　「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」に基づき、農山村地域、都市の近郊その他の良好な自然的環境を形成している地域で、市町村の計画に基づき民間が建設して供給するゆとりと潤いのある一戸建ての住宅。
※地域公共ネットワーク　地域における公共施設等を結ぶ基本的な情報通信ネットワーク。